



2026年3月25日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 以知雄
(コード番号: 4222 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経理財務部長 杉崎 浩一
(TEL. 050-3645-0121)

2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年2月13日の2026年3月期第3四半期決算発表時に開示した2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 80,000	百万円 1,400	百万円 850	百万円 20,000	円 銭 1,280.50
今回修正予想(B)	80,000	1,400	1,600	20,000	1,280.50
増減額(B-A)	0	0	750	0	
増減率(%)	0.0%	0.0%	88.2%	0.0%	
(参考)前期連結実績(2025年3月期)	15,842	162	97	△132	△15.82

2. 修正の理由

2026年2月13日の2026年3月期第3四半期決算発表時に開示しておりますとおり、2026年3月期の連結業績予想につきましては、不安定な国際情勢や地政学リスク、為替相場などに鑑み、2025年11月13日における公表値を据え置いておりました。

特に、当社グループが保有する外貨建債権債務の残高が多額であることから、評価替えに伴う為替差損益の変動が大きく、2025年8月8日に「営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり為替差損252百万円を計上する一方で、2026年2月13日には、「営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり為替差益428百万円を計上しており、半年間で経常利益に対して680百万円の変動影響をもたらしておりました。

本日、本開示と同時に開示しております「連結子会社に対する追加出資と営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ」のとおり、連結子会社に対してデットエクイティスワップを実施することにより、

外貨建債権債務の残高が減少し、為替差損益の変動が相当に低減され、経常利益が前回予想を上回る見込みとなったことから、連結業績予想を上方修正するものです。

以上